

1981 年以後に、当病院の小児科・新生児科で、ヒト免疫不全ウィルス陽性の女性から 出生されたお子さんへ

研究実施のお知らせ

研究の題名：HIV 感染妊婦から出生した児の実態調査

研究期間：臨床研究審査委員会承認日～2024 年 8 月 31 日

研究責任者：新生児科 部長 杉浦 弘

聖隷浜松病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 6 月 30 日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

1981 年以後に、当病院の小児科・新生児科で、ヒト免疫不全ウィルス陽性の女性から出生したお子さんで、診療を受けられた方の健康状況、出生前後の情報について診療録に記載された診療情報から調査に使用させていただきます。これらの情報は匿名化されており、個人が特定されることはありません。この調査を行うことで、わが国の実情が明らかとなり、今後の皆様の診療に役立つものと考えています。

【研究の方法について】

担当の医師が、郵送もしくは web を介して、調査用紙に回答をします。回答する調査内容は、【利用する情報について】に記載の通りであり、匿名化された既存の情報のみで、個人を特定することはできません。

各施設からいただいた情報を回収し、集計、共同研究機関と共に解析します。回収した情報は、本調査のデータベースに半永久的に保存します。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

1981 年以降に HIV に感染された女性から出生したお子さん

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報

- ① お子さんについて生年月、性別、出生地、出生時の状況、新生児期の状況、最終観察日、最終観察時の身長・体重・生存確認、最終観察日までの児の症状、兆候、養育上の問題点
- ② 母について 生年月、国籍、HIV 感染判明時期、母子感染予防策について、妊娠中の状況について、分娩直前の状況、分娩について
- ③ 家族構成について

【試料・情報を利用する者の範囲について】

この研究は、多機関共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

この研究で使用する試料・情報は、すべて各機関においてオプトアウト（通知又は公開と拒否する機会の提供）により入手し、匿名化されたデータです。

研究代表者

国立国際医療研究センター 小児科 田中瑞恵

共同研究機関および共同研究者

大阪市立総合医療センター 小児総合診療科 外川正生

感染症内科 中河秀憲

国立病院機構大阪医療センター 小児科 寺田志津子

国立病院機構名古屋医療センター 小児科 前田尚子

東京女子医科大病院 新生児科 細川真一

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のためび研究」研究費を用いて実施いたします。また、利益相反について代表施設である国立国際医療研究センター病院利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

聖隷浜松病院 新生児科

役職/氏名 部長 杉浦 弘

TEL：053-474-2222（代表） 9：00～17：00 平日